

生産力の向上だけではない工場運用の強化策

ヨドブレ株式会社



ヨドブレ株式会社

木材販売や構造材加工、住宅設備建材販売、住宅設計サポートなどを手がけるヨドブレ株式会社(兵庫県加西市、津山正幸社長)は、姫路と京都を結ぶ幹線道路沿いに位置し、播磨エリアを中心とした関西圏にプレカット材やパネル材の供給を行っている。

同社はプレカット黎明期の平成2年に保淀川プレカットとしてスタートし、横架材と柱材の製造をメインに手がけていた。その後、平成11年に羽柄材加工機、平成13年に合板加工機を導入、平成14年に一級建築士事務所登録を行うなど、着々と住宅プレカットの対応力を強化させていった。国内の大都市部におけるプレカット率が90%を超えた平成17年に、現在のヨドブレ株式に社名を変更。平成19年には同社のオリジナル商品である「セットパネル21」を3月に開発し、12月に型式認定を取得。パネル材の供給にも力を入れている。平成23年にはOCHIホールディングスのグループ会社へ参入し、現在に至っている。

同社には第一から第四まで工場棟があり、第一工場が横架材の加工ライン、第二工場が柱材の加工ライン、第三工場が羽柄材と合板の加工ライン、第四工場がパネルの製造ラインとなっている。

金物工法や特殊加工にも対応可能

同社は横架材の加工を行っていた第一工場の刷新・増設に伴い、2本の横架材加工ラインのうち、更新時期を迎えた1ラインを宮川工機精製のツインライン「MPS-VX05WW」に更新し、平成30年の10月に合計3ラインの加工体制へと生産力をアップさせた。

新たに導入した横架材加工ラインはクロスカットソー(MCD-302)に流れた後、張分けコンベアによって、最大材長が6mと8mの加工ラインに分岐する仕様となっている。双方の加工ラインにはスリット加工機とドリフトピン打ち機が配置されており、金物工